

令和7年度 諫早市立小長井中学校 自己評価書

校訓	「自律」「創造」「誠実」
学校教育目標	学びを生かし、よりよい未来を創り出す生徒を育成する
本年度の重点努力目標	1 学力の向上 2 思いやりの心の育成 3 健康・安全・体力の増進 4 生徒指導の充実 5 特別活動の充実 6 保護者・地域との連携と開かれた学校づくり 7 働きやすく働きがいのある職場づくりと不祥事根絶（同僚性と危機管理意識の高揚）

【評価基準】 4：達成できた 3：おおむね達成できた 2：あまり達成できなかった 1：達成できなかった

評価項目 (評価指標)	具体的方策・手立て	評価	その根拠	考察・分析及び改善策
1 学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 学びの習慣化を図る。(学習規律の徹底、支持的風土の醸成、家庭学習の充実等) 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、魅力ある授業を推進する。 校内研修を確実に実施する。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 1学期に比べ、授業に落ち着いて取り組む生徒が増えた。学校評価アンケートの授業に関する項目においても、家庭学習を除いては80%以上であり、肯定的回答率は高い。 家庭学習に関しては、質的にも量的にも課題が残っているが、学年や教科でやり方を示したり、個に応じた課題を出すなどの手立てを取っている。 特に生徒アンケート「めあてと振り返り」「考えを深める」「学習態度」の項目では、個別、ペア、グループ、一斉など、学習形態を工夫することで、学級全体の学習意欲の向上や学び合いにつながったと思われる。 校内研修については、学力向上、ICT活用、小中連携、特別支援教育、人権教育、生徒指導について計10回実施し、日々の教育活動で生かすことができたようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒たちが主体的に学んでいけるよう、引き続き学習規律を意識させながら、温かい雰囲気の中で授業を行っていく。 家庭学習に関しては、各教科でどんな課題が出されているか現状について共有する。家庭学習の内容に関しても個別の対応が必要な生徒もいるので、学年で対応したい。また、必要に応じて、家庭での学習環境を確認し、助言等を行う。家庭学習の取組方を小学校と協力し、系統的な取組にしていく。 全職員が協力して校内研修に取り組んだ。校内研修の前に研究推進委員会を開くことで、校内研修を有意義なものにすることができたと考える。引き続き、充実していきたい。
2 思いやりの心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 心の教育、命の教育を充実する。(道徳科の充実、全ての教育活動を通じた道徳教育の実践) 生徒会活動、学級活動等を活用した生徒の自治活動を推進させる。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケート結果からもわかるように、6項目中5項目で90%を上回っている。 1学期に引き続き、学年職員全員で道徳の授業を実施し心の教育の充実を図った。また、生徒の様子や言動を学校全体で見守り、小さな変化や進歩に気づき、共有することができた。 生徒会活動の中で、「感謝の木」活動を行い、たくさんの意見が寄せられた。 生徒の自治活動については、意識が高まった生徒もいるが、人任せになるなど個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業を通して学び合いができるよう、自分の考えを表現し、他の意見を聞いて自分を見つめ直すことができるような授業づくりをしていく。 学校行事や生徒の実態に沿うように、年間指導計画を見直す。 小学校と連携し、言葉選び、語彙力の充実に取り組む。 3学期は生徒会役員が新体制となるので、これを機にさらに活性化できるように指導、支援していきたい。
4 生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> いじめ、問題行動の早期発見と指導及び相談活動を充実する。 一人一人の個性を理解し、その個性に応じた適切な指導を充実する。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケート項目の「正しく指導」では、生徒、保護者共に大幅に増加した。また、褒めることに関する項目では、生徒、保護者ともに6~7%1学期と比べ増加した。学校生活の積極的な生徒指導が結果につながってきていることが伺える。 身なりや言葉遣いに関しては、1学期より生徒アンケート結果は8%増加している。校則の見直しや人権に関する取組から生徒の意識の高まりが感じられた。 教育相談は生徒は9%増加したが、保護者は4%減少した。生徒と心の相談員やSCとつながりを作ることができた結果といえるが、保護者とのつながりを持つことはこれからの課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートや教育相談により、迅速な対応ができているので、継続していく。 生徒や保護者の悩みや相談に対して、SCや心の相談員も含め、全職員で連携し、相談できる環境をさらに充実する。 生徒の意識の高まりをチャンスと捉え、今後は人権学習や生徒会活動と関連付けるなど、生徒の自治活動を活性化させていく。
6 保護者、地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 信頼される職員集団を構築する。 PTA活動を活性化させる。 地域・保護者との情報共有を実施する。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 生徒は全ての項目で1学期よりも肯定的回答が増加している。 教員一人ひとりが「信頼される職員集団」となるように、時間をかけていねいに生徒一人ひとりと向き合うように努めている。 学校生活で気になることがあれば、教員同士で役割分担しながら個別に対応している。 「親子除草作業」に多くの職員が参加する等、各活動に積極的に関わってきている。 安心メールやホームページ、学校だよりや学年・学級通信等で学校の様子や情報を提供している。 「ときめき小長井市」を始め、各学年のふるさと学習では地域の事業所の方々等の協力を得ながら、学習を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> “わかる授業の実践”を目指して学校全体として継続して授業改善を実施していく。 引き続き、生徒一人ひとりに寄り添いながら、職員や保護者と情報を共有しながらいねいに指導、対応していく。 相談体制を充実させ、相談しやすい雰囲気、環境を構築していく。 PTA活動では、引き続きそれぞれの部において担当の保護者と職員が連絡を取り合いながら活動の計画、実施を進めていく。 “ふるさと学習”の時間を有効に活用し、地域との連携を取り合いながら効果的な学習活動を実施する。生徒自らが考えて行動できるように工夫する。 通信等は今後も定期的に作成し、地域や保護者へ学校の様子や情報を提供していく。

令和7年度学校評価アンケート集計結果

評価項目	対象	質問内容	肯定的回答率 (%)				
			計	1学期	2学期		
学力の向上	1 わかる授業	生徒	先生は、わかる授業をしてくれる。	89	91	88	
		保護者	先生は、分かる授業をしてくれる。	84	85	82	
	2 めあてと振り返り	生徒	授業では、「めあて(課題)」が示され、学習の振り返り(確認・確かめ)が実践されている。	93	91	95	
		保護者	授業では、「めあて(課題)」が示され、学習の振り返り(確認・確かめ)が実践されている。	86	90	82	
	3 考えを深める	生徒	授業では、お互いの意見や考えを深める活動(班学習やペア学習)が実践されている。	84	83	85	
		保護者	授業では、意見や考えを深めるための活動(班活動・ペア学習等)が行われている。	91	89	93	
	4 学習態度	生徒	落ち着いて、自ら進んで授業を受けている。	85	84	86	
		保護者	落ち着いて、自ら進んで授業を受けている。	75	81	69	
	5 宿題と家庭学習	生徒	授業で出された課題(宿題)を家庭学習として、取り組めた。	72	74	70	
		保護者	各教科の先生から計画的に課題(宿題)が示され、家庭学習の習慣化が図られている。	62	68	55	
	6 ICTの活用	生徒	授業では、ICT機器が活用されている。	68	47	89	
		保護者	授業では、ICT機器が活用されている。	80	79	81	
	思いやりの心の育成	7 命について	生徒	命あるものを大切にできた。	98	96	100
			保護者	お子様は、命あるものを大切にしている。	99	100	98
8 認め合い・助け合い		生徒	誰に対しても、お互いの考えを認め、助け合えた。	95	93	97	
		保護者	お子様は、友人を大切にしている。	98	97	98	
9 誰かのために		生徒	誰かのために、役立つことを一つでも努めた。	92	91	94	
		保護者	お子様は、誰かのために役に立つことを実践している。	80	78	82	
健康・安全・体力の推進	10 部活動	生徒	部活動を積極的に頑張った。(部活動未所属は答えない)	75	62	88	
		保護者	学校は、部活動を積極的に進めている。(部活動未所属は答えない)	92	95	90	
	11 健康な生活	生徒	日頃から健康な生活を送れるように食事や衛生面、虫歯予防に気を配っている。	91	88	94	
		保護者	お子様は、日頃から健康な生活を送れるように食事や衛生面、虫歯予防に気を配っている。	81	83	79	
	12 環境安全整備	生徒	学校は、安全で、環境が整っている。	85	82	89	
		保護者	学校は、安全で、環境が整っている。	87	78	96	
生徒指導の充実	13 正しく指導	生徒	先生は、間違ったことには正しく指導してくれる。	92	89	95	
		保護者	学校は、子どもの間違ったことには正しく指導してくれる。	81	77	85	
		生徒	先生は、良いことや努力した時には褒めてくれる。	87	83	90	
		保護者	学校は、子どもを褒めるべき時は褒めてくれる。	77	74	80	
	14 正しい生活	生徒	挨拶や身なり、言葉遣いなどをきちんとしている。	86	82	90	
		保護者	お子様は、挨拶や身なり、言葉遣いなどをきちんとしている。	76	76	76	
	15 好ましい人間関係	生徒	学校や学級で、好ましい人間関係をつくっている。	90	87	93	
		保護者	お子様は、学校や学級で、好ましい人間関係をつくっている。	88	85	90	
	16 いじめのない学校	生徒	いじめのない学校・学級を目指し、努力できた。	91	86	97	
		保護者	学校は、いじめのない学校・学級づくりを目指して取り組んでいる。	81	78	85	
	17 教育相談	生徒	悩みや相談ごとがあるとき、先生や心の相談員、スクールカウンセラー等に話しやすい。	69	64	73	
		保護者	学校は、子供の悩みや相談に応じてくれる。(先生や心の相談員、スクールカウンセラー等)	81	83	79	
特別活動の充実	18 キャリア教育	生徒	自分の個性を理解し、将来の進路についてしっかり考えた。	73	66	80	
		保護者	ご家庭で、進路のことや将来の職業等について話し合う(会話する)機会があった。	87	88	87	
	19 進んで活動	生徒	学級の係活動や学校行事などに積極的に取り組んでいる。	91	92	89	
		保護者	お子様は、学級の係活動や学校行事などに積極的に取り組んでいる。	89	87	91	
		生徒	学校スローガン「輝」を意識し、学校生活を送っている。	75	72	77	
		保護者	お子様は、学校スローガン「輝」を意識し、学校生活を送っている。	59	63	55	
	20 地域との連携	生徒	総合的な学習の時間などの授業や学校行事等で、地域の方からの話を聞いたり、指導していただいたりする機会がある。	80	71	89	
		保護者	学校は、地域の方や外部の方を授業や行事等の講師として活用している。	88	88	88	
21 教育方針への理解 家庭地域への連絡		生徒	学校から出された文書や学校だより、学級通信等を確実に保護者に渡している。	84	82	86	
	保護者	学校は、学校だよりや学級通信、安心メール、ホームページ、各種会合等を活用し、学校の様子や必要な情報を知らせている。	86	85	87		